



2020年度の体育祭は、コロナ禍に対応した新競技で開催。
ライブ中継も試み、観覧できない保護者や地域の方々へ配信しました。



「時務」と「魂」

篠山鳳鳴同窓会長

河南秀和 (高22回)

コロナ禍の影響が続く中、同窓会員の皆様にはご健勝で過ごしていただいていることを願っております。日頃は本会の運営に格別のご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。

「時務」とは、『今やらねばならぬ事、その時その時に応じた重要な仕事。』とあります。今日の社会全体にかかる「時務」とは、「新型コロナウイルス感染症の終息を図り、人々の暮らしと健康・命を守り通すこと」に集約されます。変異株が出現した今、ワクチン接種の早期完結が円滑に進みますことを願ってやみません。こうした現況から、会員大会「鳳鳴のつどい」は、2年続きで誠に残念ではありますが、理事会・代議員会での決定(書面決議)を踏まえ、中止とさせていただきます。事情ご賢察の上ご理解いただきますよう宜しくお願いいたします。

一方、篠山鳳鳴同窓会にとっての「時務」とは、「会員の相互の親睦交流と母校教育充実発展への寄与」であります。コロナ禍であるからこそ、会員相互の交流を促進するため、この3月末にホームページ(「<https://homei-doso.org>」)を新規開設致し、本会の更なる交流充実を目指しております。また、母校発展に向けては、運動部・文化部の活動と各種教育事業への支援、昨年度は特に新型コロナウイルス感染症対策として「非接触型体温計」と「アルコール消毒液」等の緊急支援を行ったところです。今年度は、学習環境整備として特性机等備品充実とオープンスクール事業への強力な支援・助成に取り組むたいと考えます。篠山鳳鳴高校は、広く社会で活躍する人材を育てるための5年間にわたる県指定事業を通しての学校改革の真っ只中にあり、今後、その成果を広く全県に及ぼそうとされております。横溢する若い力の硬式野球部のチーム目標が「雑草魂」とあり、象徴する一文字は「魂」と朝日新聞兵庫版に紹介がありました。いかなる厳しい環境であろうとも、乗り越え、這い上がるパワーを持ち、しなやかな強さを有する後輩諸君の存在は、「頼もしい」の一言に尽きます。

同窓会における「時務」を超えての大きな課題は、財政基盤の強化安定化であります。ここ数年間において、財政状況改善のため、同窓会報発行にかかる「同一住所会員名寄せ」「地元企業各社様のご協力による広告掲載」、また、郵便局だけでなくコンビニからの協力金納入システム導入等の工夫を重ねて参りました。その結果、協力金納入にご協力賜りました件数では、前年度比約16%増、金額では特別寄附金を含めて同比約30%増、と少し明るい兆しは伺えるのですが、定員割れ入学者数減に伴う財政基盤の脆弱化を考えますと、数年後の財政危機を拭い去ることは出来ません。母校の際立つ魅力と羨望の学び舎への回帰に向け、今こそ、県下に誇る篠山鳳鳴高校の同窓生・よき先輩の皆様方の「鳳鳴魂」とそれぞれのご活躍を、母校隆盛へのエールとしてお届けいただきますことを切望いたしております。ご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

結びに、この五月に97歳で人生を閉じられました京都大学名誉教授河合雅雄先生(鳳中56)のご冥福をお祈りしつつ、会員皆様のご健康とご活躍並びに母校発展をご祈念申しあげご挨拶とさせていただきます。

学校改革の取組について

篠山鳳鳴高等学校長

細見伸広



同窓会の皆さまには、本校の教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本校に赴任して2年目を迎えました。昨年度の一年間は新型コロナウイルス感染症への対応で追われました。文化祭は実施できずに文化部の発表会として総合文化パフォーマンスを持ちました。体育祭もコロナ対応で新しい生活様式に則った種目で、3年生の保護者の方だけ来校いただいたの実施としました。1月に予定していましたが修学旅行は実施できず、3月に代替の旅行を計画しましたが、これも実施できませんでした。

新型コロナウイルスもいったん収束の兆しが見えましたが、第2波、第3波とだんだんと衰えを見せるどころか、新たに変異株が広がりをはじめ、若年層への感染力の強さや重症化も報じられています。このような状況ですが、今年度はコロナ禍の中で教育活動を止めるのではなく、「できること」、「できる方法」を考えながら取り組んでいるところです。

さて、4月8日に入学式を行い、76回生108名の新入生を迎えました。しかし、報道等でご存知の方もあると思いますが、大きく定員を割ってのスタートとなりました。令和2年度の一年間も学校改革を進め、その情報発信に努めてまいりましたが、コロナ禍の影響もあり、十分にお伝えできない場面もありました。今年度は学校改革への体制を整え、さらに改革のスピードアップとその強化を図る決意をもって以下のような取組を進めます。同窓会の皆さまにおかれましても、今後とも本校の教育活動及び学校改革への取組にご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。また、忌憚ないご意見をお待ちしています。何かありましたら学校までご連絡をお願いいたします。

学校改革を進めます

- 1 学校改革推進チームを立ち上げて改革を進めます
 - ①本校の魅力を様々な方法で発信します
 - ②ICTを活用し、授業改善をさらに進めます
 - ③学校行事がさらに魅力あるものになるよう検討します
- 2 県指定事業「高大接続改革推進事業」を活用し、
 - ①神戸大学等と連携した「探究」活動をさらに進めます
 - ②STEAM教育を通じた教科横断的な学びをさらに進めます
 - ③国内イングリッシュキャンプを実施するなど英語学習の充実を進めます
- 3 兵庫型コミュニティ・スクールの指定を受け、地域と連携し、地域からのご意見をいただきながら改革を進めます
- 4 学校の施設設備の整備を進めます(今年度中にトイレ改修工事を予定)

洛鳳会

ふるさとに 思いを込めて

会長
西垣吉春(高17回)

4月の下旬にワクチンの「接種券」が届き、日を置かずして「予約開始のお知らせ」が届きました。京都は概ね「かかりつけ医」で接種を受けるという。報道によると診療所、病院の公表は2割ほどで8割は非公表の「かかりつけ医」が対応するらしい。加えて「一見さんお断り」と言うから京都らしいかなと納得してみたり…まずはワクチン接種の段取りになったことを喜ぶしかありません。煽る報道に惑わされず、冷静に順番を待ちたいものです。

私は、丹波篠山の「野菜泥棒」です。兄が丹精込めて作付けた白菜にキャベツ、玉ねぎ、三度豆、大根、黒豆等の路地ものに、蕨に野蒜・山椒に赤紫蘇、栗と里山の名産も遠慮なく頂く泥棒です。その帰途、黄昏の東の空に大きなまん丸いお月さんが見えました。特大の…。

丹波篠山に残って、家を守り、町を盛り上げ努力されている方々にもまた感謝します。

全国的に同窓会の集いは、やや低調だと聞きます。加えてコロナで「帰ってくるな！」ではふるさとへの思いも半減します。ただ同窓の誼は、何の説明も何の言い訳も、都会にしようが田舎にしようが、出会った瞬間40年、50年の垣根を取っ払う力があると信じます。SNSでの交流も一つの手段でしょうが、やっぱり人間は直接出会っての触れ合うのが一番大事だと信じています。今年は「洛鳳会」の総会年、三密を避けて小さな集まりでもよい。皆さんの協力のもとにコロナに負けず、みんな揃って無事集えることを願っています。



▲総会開催予定の貴船「べにや」の川床

この1年間本当にお疲れさまです。まだ、終わりの見えないコロナ禍の中を手探りで進んでいるような状況ですね。ワクチンがいきわたれば、何とか収まるのでしょうか。もうしばらくは辛抱を強いられるのでしょうかね。

さて、阪神支部の総会は、昨年6月22日の予定を、9月22日延期する計画を立てましたがこれも実施することは出来ませんでした。改めて来年、2022年6月5日(日曜日)ホテルグランヴィア大阪にて第22回大会を開催予定しております。詳しくは、またご案内をいたします。

今回は、私事をご紹介することをお許し願いたいと思います。実は、高校時代は合唱部に所属して、コンクールやら、秋の文化祭で歌っておりました。

卒業後は、神戸大学グリークラブに入部して男声合唱にどっぷりつかっておりましたが、社会人になってからしばらくは職場のコーラス部や、地域のコーラスグループに所属して合唱祭とかに出ておりました。その後65歳になって、やっぱり、男声合唱の繊細さや重厚なハーモニーを忘れられず、六甲男声合唱団に入団して、今日に至ります。

入団してからわかったことは、神戸大グリーの先輩で、野中にお住いの大西克彦さん(高8回)がこの六甲男声の団員であったことや、吉田武司さん(高33回)も神大グリーで活躍されていました。

合唱の活動も、まったく練習する事のできない期間がほぼ1年続きました。しかし、大阪や神戸での緊急事態宣言の解除を受けて3月から、練習会場を広い公会堂ホールに移して開始しました。当面の演奏会は5月16日に尼信アルカイクホールでのANCORの会(アンコールの会:5つの男声合唱団の集い)です。まだ団員全員がステージに出ることは出来ません。おそらく団員の6割ぐらい30名程度になりそうな状況です。出られない団員の分まで精一杯の演奏をお聞かせしたいと練習に取り組んで

います。

六甲男声合唱団は「魅惑のスクリーンミュージック」として英語で、キャバレー、サンセットサンライズ他3曲を歌います。また、合同演奏では、今回40回目を記念して、男声合唱で長年、歌い継がれてきた曲「柳河」「富士山」「希望の島」「上を向いて歩こう」を演奏する予定です。この原稿を書いている3月では、この演奏会は無事にできるものと思っており、入場者約半分の900名、入場料は無料で行う予定です。この会報が皆様に届けられるころには、次の演奏会の練習に打ち込んでいっていると思います。

ところが、本原稿をお送りしてから、事態が急変しました。4月になって、まん延防止等重点措置がだされ、練習は中止、さらに4月25日からは三回目の緊急事態宣言の発出で、演奏会自体中止となってしまいました。合唱する楽しみがまたしても出来なくなっていました。残念ですが受け入れるしか仕方ありません。

来年の5月こそ、この演奏会が開催できることを信じております。みんなにワクチンがいきわたり、安心して演奏会ができるようになることを心から願っております。



▲ANCORの会の合同演奏会(2018年5月 西宮芸文ホールにて)

阪神支部

コロナ禍での合唱

支部長
永井哲郎(高19回)

丹波市支部

丹波歴史雑学

臼井 学(高25回)

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」のおかげで、黒井城跡や八上城跡(いずれも国の指定史跡)が難攻不落の城として脚光を浴び、知名度がアップしました。今回、丹波市支部のコーナーで、黒井城跡を中心に紹介します。

黒井城は南北朝時代の建武2年(1335)に、赤松貞範によって築城されました。その後、天文23年(1554)に荻野直正が城主になります。直正は、もとは後屋(ごや)城(丹波市氷上町)に住み赤井才丸と名乗っていました。養子先の黒井城主、荻野秋清を殺害し、自ら城主になり、悪右衛門と称しました。悪は強いという意味があるようです。

直正が近隣に名をとどろかすようになったのは、天正4年(1576)の黒井城の戦い。天下布武を目指す織田信長が明智光秀を総大将に命じて挑んだ丹波攻略戦。俗にいう「丹波攻め」です。このとき、黒井城の周囲を取り囲まれた直正軍は籠城戦に出ます。光秀の大軍の前に「もはやこれまで」と思っていたときに光秀軍の後方で直正軍を攻めていた八上城主、波多野秀治の一軍が直正軍に寝返り、後方から光秀軍を攻めてきました。光秀軍は、城にいる直正軍との挟み撃ちになり、敗走します。これは後に「赤井の呼び込み戦法」と呼ばれ、今も語り継がれています。

直正は、その後天正6年(1578)に首切り疔(ちょう)によって亡くなり、翌7年(1579)には八上城に続き、黒井城が落城し、丹波攻略戦は終わりを告げます。黒井城落城の際、幼かった直正の子直義

をかかえて脱出させたとされるのが直正の弟、三尾城主の赤井幸家(よしいえ)で、俳優の赤井英和さんはその子孫の一人です。丹波篠山市上板井の弘誓寺(ぐぜいじ)と春日町国領の流泉寺(りゅうせんじ)に幸家の墓碑があります。

丹波平定を成し遂げた信長は光秀に丹波(現在の兵庫県北東部、京都府中部、大阪府の一部)の統治を任せます。光秀は、直正の下館(現在の興禅寺)を陣屋とし、重臣の斎藤利三(としみつ)を住まわせます。ここで生まれたのが娘のお福(後の徳川三代将軍家光の乳母春日局)です。お寺には武家屋敷を彷彿させる高い石垣、七間堀などが残り、お福の腰かけ石や、お福産湯の井戸もあり、当時をしのぶことができます。斎藤利三にちなみ、斎藤屋敷とも呼ばれていました。ちなみに篠山城主青山家の先祖、青山忠俊は家光の教育係で、丹波にゆかりの春日局、青山忠俊が家光の養育にかかわったとされるのも不思議な縁です。明治になり、忠俊の子孫、青山忠誠(ただしげ)公が篠山鳳鳴高校の前身、私立篠山中学舎(後の私立鳳鳴義塾)を創設しています。

また、黒井城下館には、大河ドラマではイケメン俳優の本郷奏多(かなた)さんが演じた関白、近衛前久(さきひさ)が住んだことがあります。興禅寺にはかつて父前久と暮らした関白の近衛信尹(のぶただ)が手がけたとされる庭もあります。



▲黒井城跡



▲興禅寺

いつか43回生同窓会を

榎原謙介(高43回)

先輩方が引き継いでこられた伝統の卒業30周年同窓会。私たちも先輩方と同じように新年に集まり、再会を楽しめるものだと思っておりました。それが今のようない状況になるとは、思いもしませんでした。

準備当初、すでに新型コロナウイルスは世界的に広がりを見せ、ついには緊急事態宣言が発出される事態となりました。しばらくして、少し落ち着いてきたので、年明けには予定通り同窓会を開催できであろうと準備に取り掛かりました。しかし、状況が良くなることはなく、GWに延期することとなりました。その後、2回目の緊急事態宣言が発出されるなど、不安定な状況は続き、幹事一同、開催について大変悩みました。そして、残念ながらこの度は中止せざるを得ないと判断いたしました。

ただ、同窓会と同じく引き継がれてきた母校への寄付は、頑張っている後輩達のためにも、私たちの学年で絶やすことはできません。43回生の皆様にお願したところ、たくさんのご寄付をいただき、720,000円寄付することができました。

いつかワクチン等が行きわたり、安心できるようになれば、集まれる機会を作りたいと考えています。その時は思いっきり再会を楽しみましょう。



「鳳鳴楽友会」解散

小林俊彦(高28回)

昭和46年(1971年)篠山高等学校及び篠山鳳鳴高等学校のオーケストラ部・音楽部・合唱部・吹奏楽部の卒業生が集まって「楽友会」が結成されました。現役合唱部・吹奏楽部の活動の場を提供したり、支援をしたり、また卒業生の活動の場を提供して参りました。

しかし、楽友会の維持は難しく、その活動が中断しておりました。楽友会幹事の七十名の賛同を得て、解散することになりました。令和3年5月18日、学校長・教頭立ち会いのもと、現役合唱部・吹奏楽部に楽友会の残された資産(現金20万円余)を分割して楽友会の最後の支援としました。

篠山鳳鳴高校合唱部及び吹奏楽部は多くの音楽家や音楽愛好家を輩出してきました。楽友会はこの解散しましたが、私たち音楽部OBは永遠に音楽部OBであることに変わりはありません。これからも支援し、活動を見守り続けたいと思います。

(会長・役員一同)



草山万兎さん さようなら

小山三智子(高31回) 小山書店



私達の大先輩で、丹波篠山市の名誉市民である河合雅雄先生が亡くなりました。

篠山に帰ってこられてから、何回かお話を聞いたり、万兎の会や児童文学者の方が来られたときなどに一緒にさせていただきました。特に、先生のゲラダヒヒのお話はともて面白く、大好きでした。

「人間は他の動物がしない残虐なことをする。他にはない優しさもあるが、人間がどのように生まれたかがテーマだ」とおっしゃったことが胸にこたえました。子ども向けの本も出されていますが、「子どもの本を

書くのが一番気を遣う。難しいんだよ」ということばも忘れられません。ボルネオの合宿のお話の際には、篠山からの参加者がいないことを残念がっておられました。

七年前、弊店を小さくしたことを丹波新聞のコラムで、「文化の灯が消える」と嘆かれたときは恐縮し、「申し訳ありません」と謝りました。

また、先生は「歩いていない道はない」と言われるくらい、街中をよく散歩されていました。自然を愛し、全ての生き物を愛され、人間と動植物との共生を願っておられました。篠山を愛し、地元の書店を大事にしてくださいました。私は、学校へ読み聞かせに行く機会があります。子ども達に、先生のこと、人間も動植物も共に幸せに生きることが大事だという先生の思いを伝えていきたいと思います。

先生、本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。 ※河合雅雄先生のペンネーム

「京都の六斎念仏」を、見に来てください。

藤田加代(高19回)

京都東山の^{りしょうどう}高台寺利生堂で、このところ毎年、11月の第一土曜日夕方から、京都の六斎念仏が奉納されています。

六斎念仏は、平安時代の後期、疫病や末法思想の不安から、空也上人が人々を救うために始めたと言われる鉢たき念仏が起源とされています。手持ちの小さな太鼓を使い、太鼓で諸芸能を演じる事に特徴があります。千年以上にわたり継承されているあいだに、念仏六斎が薄れ、庶民に親しみやすい芸能六斎を主に演じるようになりました。

現在、京都市では、14の保存団体が、伝統・文化の保存と継承に努めています。しかし、20年ぐらい前は、人口減少や生活スタイルの変化から、どの団体も後継者不足に悩んでいました。

この状態を打破すべく、平成15年に「子ども六斎教室」が活動を始めてからは、女子が保存会の六斎練



上島羽六斎

習に参加できるようになりました。そして、女子の目覚ましい活躍のおかげで、保存団体に入会する子どもも出てきています。つまり、後継者が育ちつつあるわけです。

今年は、令和3年11月6日(土)午後5時半～7時、今一番子ども達が大活躍をする桂六斎の奉納があります。来年には、ユネスコ世界無形文化遺産登録をされる予定の京都の六斎念仏 芸能六斎です。是非とも、ご覧頂いてフアンになってください。私は長年、子ども六斎に係わって支援活動をライフワークにしています。

「不思議な巡り合わせ」

加藤善朗(高34回)



思えば、不思議な巡り合わせです。仏教美術、主に中世の仏画の絵解き研究を専門にしておりました。国際日本文化研究センターに設置された総合研究大学院大学で学位を取ったあと、非常勤で食いつないでいたのですが、ご縁があ

って京都西山短期大学に来たのが15年前のこと。新たに仏教保育専攻を立ち上げるということで、その準備段階から参加させていただきました。関山和夫先生が学長を務められていたことです。

祖父の母校に奉職できることは嬉しかったのですが、それから昨年の春まで、私自身が学長に任じられるとは思ってもやめませんでした。理事会での決定を受けし、謹んで拝命しましたが、就任後一年を経た今も、身が引き締まる思いでいます。

未だ先の見通せないコロナ禍が続いています。リ

モート授業のあり方、入学試験、学園祭、保育・教育実習など、例年とは異なる対応が増えており、学生だけでなく、多くの方々のご協力を頂戴しています。山ほどのチェックリストをみてへこんでいる学生に「こんな学べるチャンスないよ」って実習に学生を送り出しているのですが、内心はヒヤヒヤです。

コロナ禍で少しいいこともありました。卒論の指導をされている先生が、「前期はとくに十分な指導ができなかったけど、例年よりも充実した論文が多かった」とおっしゃったことです。

学生が交わりを断って引きこもった分、充実した成果を得られるというご報告でした。自身を顧みても、非常勤で食いつなぐ雌伏の時代があったからこそ、論文が書けるようになった。逆に言うと四六時中考えてないとまともな論文は書けないということでしょうか。

冬の時代を経て、桜咲くこともあるということを確認いたしました。

Profile 1964年、兵庫県生まれ。総合研究大学院大学国際日本研究専攻博士課程修了。博士(学術)2002年、鎌倉時代の涅槃図研究で佐和隆研賞を受賞。日本学術振興会特別研究員、龍谷大学講師を経て、2005年に京都西山短期大学の教授に就任。今年度から学長に就任。

水戸の徳川様と丹波の黒豆

小田垣昇(高41回) (株)小田垣商店 代表取締役

丹波黒豆の歴史は三百年以上前に遡りますが、その記録は実は水戸のお城にあります。常陸水戸藩第二代藩主の徳川光圀公(水戸黄門様)が元禄十一年(1698年)十二月二十三日、丹波篠山から献上されてきた黒大豆を水戸特有の糸引納豆にして召し上がられたという記録です。

その後、常陸水戸藩第九代藩主・徳川斉昭は、後に江戸幕府最後の十五代目将軍となるその息子慶喜に「長命の秘訣は毎日百粒の黒豆と牛乳を飲むこと」との書簡を残しております。徳川慶喜は江戸時代最も長生きした将軍ですので、大変興味深い記述です。



この長命の秘訣は、本年度のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の第一話でも取り上げられ、慶喜が黒豆を食べる場面がありました。実は、その「青天を衝け」の題字は、小田垣商店本店第一期改装の設計・監修をしていただいた世界的に著名な芸術家である(株)新素材研究所の杉本博司さんが書かれており、水戸の徳川様を介した黒豆のご縁を感じる次第です。

小田垣商店は古い国登録有形文化財の建物を未来へ遺し、黒豆文化を後世へ繋げるため、古いモノを大切に古く戻すことをコンセプトに本店をカフェ併設の新しい空間へ改装いたしました。

いつかコロナ感染が終息した後、直島のように丹波篠山を目的に世界から芸術ファンや観光客が集まり、丹波の黒豆の素晴らしさを知っていただけるよう、微力ながらも取り組んでいきたいと願っております。

映画「森の学校」全国で再上映

堀 成志(高34回) 丹波篠山観光協会会長

河合雅雄先生(中56回)の著書「少年動物誌」を原作に、昭和10年代の丹波篠山を舞台に描いた映画「森の学校」が、再び全国の映画館で上映されています。2002年に公開されたこの映画は、故・三浦春馬さんが子役として活躍され、ファンのリクエストの力により、昨年12月から再上映されているのです。

この映画はDVD化や動画配信、テレビ放映はされておられません。西垣吉春監督(高17回)の「丹波篠山の雄大な自然や景色を大きな画面で見てほしい」という強いこだわりを貫いてこられた姿勢に、故郷を想う強い愛を感じます。

2021年に入ると、篠山観光案内所へ「映



画で撮影された場所を訪問したい」との問い合わせが入るようになりました。映画の公式パンフレットや西垣監督からお借りした撮影当時の写真などを手掛かりに、撮影場所を特定し、公式観光サイト「ぐるり！丹波篠山」へ掲載いたしました。すると、サイトの閲覧目的の35%は、映画関係の記事という大きな反響がありました。(大河ドラマ「麒麟がくる」で丹波攻めの放送時期でもありましたが、その記事閲覧は2.5%でした)現在も多くの問い合わせがあり、その反響の凄さを体感する毎日です。

映画「森の学校」がこんなにも多くの方に愛されるのは、三浦春馬さんという俳優の原石の輝きはもちろん、原作「少年動物誌」の素晴らしさにその訳があることは言うまでもありません。

原作本の中の、親が管理しなくても自然の生き物とのふれあいで心が成長していく子どもの姿に、子育ての本質を教えられます。またコロナ禍の中で人々は、丹波篠山の開放的な自然に、大いに癒されているのではないのでしょうか。

この映画は、丹波篠山に住む我々にも多くの気づきを与えてくれます。昭和10年の丹波篠山という設定で撮影された作品ではありますが、今も変わらぬ風景が丹波篠山には多く残っています。私達はこの豊かな丹波篠山をこれからも大切に守っていかねばならないと強く思います。また子どもたちにも、映画「森の学校」を鑑賞してもらうことで、ふるさと丹波篠山の素晴らしさを再発見してほしいと願います。



森の学校 丹波篠山観光協会



パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村

ユニトピアささやま

- 宿泊
- アウトドアスポーツ
- グルメ
- キャンプ&BBQ
- 研修
- 温泉



〒669-2356

兵庫県丹波篠山市矢代231-1

TEL 079-552-5222

<https://unitopia-sasayama.pgu.or.jp>

恩師 北山 全三郎先生のこと

辻 美智子(細見)(高9回)

北山先生には、二年生、三年生と二年間お世話になり、十代の写真を沢山撮って下さり卒業後もクラス会にはいつも参加下さって記念写真が残っています。

退職され宝塚にお住まいになりましたので、十代の写真のお礼にとお餅をお届けすると、ご夫妻で大好物といって下さり篠山のご自宅にお帰りになった時もお届けしました。

しばらくすると「教え子の山鳥医院に入所しました」と連絡して下さい一年に一、二回お訪ねしました。

お訪ねする度に「細見さんのお父さんは立派な方だった。」とおっしゃって下さり、「そうでしたか。」とありがたい言葉だと受け取りました。その父は昭和四十一年五月六十八才で亡くなりました。私は二十七才でした。又「奥山(岩間)靖子さんは元気かな?お琴の先生をされているそうですね。」とおっしゃるので連絡を取り、岩間靖子さんと二人で先生をお訪ねしたこともありました。



▲1955年4月 2年5組

ある時、お訪ねするとベッドに八十八才のお誕生日カードが掛けてあり米寿のお祝いのメッセージが書いてありました。「先生 お目出度うございます。今度お邪魔する時、何かお祝の品をお届けします。」といって別れました。

しばらくすると田伏(田中)泰江さんから先生の訃報のお知らせが来ました。すぐにお伺いすることが出来ずお伺いした時は「今日の午前中に氷上の甥の方に引き取られ帰られました。」とお聞きした時はとても残念に思いました。最後にベッドで座ってにこにこされていた笑顔が今も私の脳裏に残っています。

先生ありがとうございました。

同窓生からの便り

(令和2年7月~令和3年5月分) 順不同 敬称略

●コロナ新時代に皆様の御健康と御発展を心より御祈り申し上げます。何卒御安全に。

高35 本山尚己(丹波篠山市)

●丹波篠山市と改名する努力をした割に、その後の「丹波篠山」としてのPRと名産品などの出現を見ること少ない。TVなどにもPRがあること物産品などにお目にかからない。もっと食品などうんとそれらしい物を出して欲しいと思う。改名に努めた旧交ではお金を使っただけ!

匿名

●卒業から53年が経ちましたが、元気に暮らしています。12年前に宝塚市に転居し空き家だった実家も4年前に処分し、帰省先を失くした為、行く機会もありません。近年の丹波篠山市の激変には大変驚いています。同窓会等の参加も個人的に年々回数が減り残念に思います。コロナが収束すれば又、来年以降、鳳鳴の集会には積極的に参加し、皆様と旧交を温め、今生の別れの挨拶等もしたいと思っています。その節は宜しくお願い致します。

高19 廣瀬史郎(宝塚市)

●「鳳鳴のつどい」への参加も長い間欠席しております。コロナが終息すれば元気に内に出席できる日を楽しみにしております。

高7 中山義隆(西羅)(和歌山市)

●年のせいか体が少ししんどいです。

高8 高浜美穂子(神戸市)

●1. 協力金納入の状況を見て、昭和後期から平成、令和にかけての卒業生の方との少なさにただごとでないものを感じました。原因、理由を探して対処されるように願ひ上げます。

2. 人間100歳を生きる時代となりました。おかげ様で81歳の私も冬は篠山で鹿猟をやっていますが、猟期外の害獣駆除には参画を許されません。理由は篠山市在住でないからです。1億総活躍の新時代、人手不足の解消に誰か力を貸して下さい。

高9 森田公司(神戸市)

●いろいろありましたが、孫たちも社会人になり、やっと今は悠々自適に主人とそれぞれ趣味をもちマイペースで暮らしております。三田に嫁ぎましたが、篠山鳳鳴高校出身であることを誇りに思っております。

高7 柏戸英子(三田市)

●認知症の妻の介護が困難となり、施設に入居する。その為、人の役に立つ事が出来ず、生きるモチベーションがなくなり、心的に落ち込む。「なさは他人の為ならず」が骨身にしみる今日此頃である。

高7 畑中正治(茅ヶ崎市)

●丹波篠山 ライフワーク 都市に近い自然と共生を発信出来るエリア丹波篠山が売りとなります様に!

高26 酒井欣也(芦屋市)

●鳳鳴高校を卒業して60年。まだまだ楽しかった高校生活を思い出します。現在、葛飾区の地方公務員として小学校に勤務しており、後3年80才迄頑張るつもりです。

高13 吉田行輝(葛飾区)

●秋の展覧会に向け昆虫の姿を黙々と描きつけています。福住の森林公園で「ギフチョウ」を育てられているとのこと。桜の頃に一度訪問したいです。

高11 小林康男(千葉市)

●丹波篠山市小坂へ徳島からウノトリが飛来したニュースを喜んでます。住みついで家族が増え

ることを祈っています。 高16 高家正和(宝塚市)

●「論文 株主有限責任」を執筆後、20年近く経って評価されてきているようで、私自身、若干、戸惑っております。センター試験が廃止され、共通テストが採用されることからみまして、人間の能力評価基準が修正されつつあるのではないのでしょうか。

鳳中64 西村文治(西宮市)

●昨年、主人を送り、息子、孫と何の心配もなく日々幸せを感じています。新型コロナ一色に染まって半年余!! あと二年で傘寿。週二回のカルチャーに通い、皆様に感謝して元気で過ごしたいと思ひます。会員のみなさまの幸せをお祈り致します。

高13 久野豊子(名古屋市中)

●私は仏教徒ですが、新ローマ法皇の御来日で『平和を願う祈り』に感銘を受け、暗唱致しました。生活している中で非常に参考になります。例えば、分裂のあるところには一致を等。眠る前に、一連の詩を唱えます。読経は朝。いずれも心穏やかにさせて頂いています。この年になって(84才)…えーっ?

高6 旭重子(東大阪市)

●思いもよらず長生きして、余生を楽しんでいます。多くの級友がこの世を去り淋しいことですが、この世のならい、仕方ありません。母校の益々の発展を心から願ひます。鳳中59 竹内静夫(神戸市)

●新型コロナウイルス感染拡大により日々心配ですが、健康管理には注力すべく、毎日1時間のウォーキングやゴルフの練習などで健康管理、体力の維持に努めております。2019年5月19日(日)にはささやま荘に於いて高16回生約90名で同窓会



あなたとまちとフェイスtoフェイス

中兵庫信用金庫

理事長 足立 厚郎

〒669-3693 兵庫県丹波市氷上町成松 226-1
TEL (0795) 82-8850

〒669-1321 兵庫県三田市けやき台1-4-3
TEL (079) 569-7150

おまかせ
ください!!

コミナミに

資源ごみ
買い取りなら



ちよつと
待つて!!
捨てないで!!

各種鋼材販売 株式会社 コミナミ 降矢 毅・小南 嵐・小南 穂彦
鉄筋工事 廃棄物収集運搬

丹波篠山市南新町218

●定休日/土・日・祝日

TEL (079) 552-5373 FAX (079) 552-1920
受付時間/8:00~17:00

が開催され、たのしい一時を過ごすことができました。早くコロナウイルスが終息し、又なつかしい皆さんとの同窓会が開かれることを願っています。

高16 藤井春彦(長岡京市)
●NPO法人の役員として活動中ですが、コロナ騒動で活動は不活発です。法人の活動は対面活動が主なので、工夫しつつ教育等に貢献できることを願っています。

高18 佐野由明(守山市)
●令和3年には米寿を迎えます。すでに亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、まだまだ元気で余生を楽しまれている同期の健康と御多幸を願っています。

高4 山内照子(奈良市)
●卒業してから70年を超えました。ふる里も母校も遠くなりました。この老人の思いを母校にふる里に再び引きよせる企画を願っています。

高2 若狭晃(堺市)
●阪神支部の大会もコロナ感染防止の為、2020年は中止となりました。改めて、2022年6月に開催したいと思ひます。又、ご案内致しますので、是非、ご参加ください。コロナの終息を願っております。

高19 永井哲郎(高槻市)
●いつも素敵なお知らせを送りいただき、感謝の極みです。同窓の皆さんの声が、当時を懐ける一時となりつつあります。篠山鳳鳴同窓会の益々の充実、発展をお祈りし失礼致します。

高14 奥山晋茂(丹波篠山市)
●芸名:レーモンド塚下慎太郎 全国カラオケ店DAM配信曲6曲放映中。ヒット曲「名張に来てだ〜こ」『名張の犬 ひゃわん』74才で歌手デビュー(090-1983-3641)シンガーソングライターとして作詞、作曲して名張当地ソング歌手として活躍中。

高15 レーモンド塚下慎太郎(名張市)
●コロナ、コロナで毎日がゆううつです。家に居なさい。外出はひかえて下さい。で足腰が弱って来ました。本年は同窓会がなく残念ですが、来年を楽しみにしております。役員の皆様、色々とお苦勞様です。鳳鳴高校の益々の発展をお祈りしております。

高1 川口聖(西宮市)
●S46年に損保会社に入社し、広島→山口→大阪→岐阜→愛知→三重→山梨と8回の転居を経験しました。愛知を永住の地として、現在老夫婦2人でひっそりと余生を送っています。筋力の衰えをカバーするため、ウォーキングに勤めています。コロナで仕事の仕方、生活スタイルも大きく変化していますが、本来の日本人の良さはなくさないようにしたい、してほしいものです。

高19 岩本賢司(小牧市)
●改めて、母校について考えてみました。丹波篠山の自然豊かな所で、郷土の人材育成を目差した先生方の熱意の元で、質実剛健や生涯にわたり、真心を貫く建学の精神をモットーとして、友情や信頼を勉学とともに学びました。現在社会は、経済活動第1で、生命活動が憂慮される中で、河合隼雄先輩が人間愛として「思いやりの心」の大切さを全国で講演されていたのを知り、共感させられました。その精神を継承したいと思ひます。

高16 太野垣功(新潟市)
●同窓会報、懐かしい思い出が浮かんできます。恐怖と不安のコロナ禍のなか、傘寿を迎えましたが、会報でのご高齢の諸先輩方のお便りに刺激と元気を戴きました。ありがとうございます。この会の一層のご発展を祈っております。

高12 中山岩男(越谷市)
●昭和27年高校卒業生で同窓会の名称は鳳山会

と云います。鳳鳴中学と篠山高女とが昭和23年合流して男女共学になった(併設中学3年生)その時、女子生徒と初めて、男女1名ずつ交互に机を並べて座り、勉強した日がとても懐かしいです。後者の席にいた子が初恋の人です。 併中3 匿名

●今年に入って体調不良で3月に心臓の検査した所、大動脈弁が中等度から進んでいて、3月と4月入院して検査しました所、僧帽弁も悪く血液逆流しているとの事で手術するところ、コロナで延期。7月8日手術と云う事で入院申し込んでいたところ、大動脈弁の弁が保険の規定に0.02達せず、メーカからN0で手術延期になり、現在に至ります。不調になり、今年同窓会なくて良かったです。来年は多分出席出来ます。又、皆さんと元気で逢いましょう! 高9 西本治美(大阪市)

●お堀端に並ぶ満開の桜。お堀の水辺に咲く満開のハスの花。王地山の真赤なもみじ。お城からのぞむ高城山。清潔な街並。いつまでも思ひ出す本当に素敵な城下町です。大切に下さるよう心から願っています。 高7 小泉明子(調布市)

●今秋で古希(数え70歳)を迎えます。63歳まで働き、その後、自治会活動とまちづくり協議会活動をしてきました。多くの人とのイベントを通じた出会い、私にとって豊かな時間を共有出来、充実した日々を過ごすことが出来ました。

高21 東浦篤史(丹波篠山市)
●今年は大変なニュースの山盛りですね。こんな中、84才の体でも人の力を借り乍らの生活を与えていただいていることに感謝して楽しく過ごしています。鳳鳴高校の学舎がまだ移転する前の卒業生ですが、お城跡のふもとこのイベントを通して満開となり、ポートが浮かび、賑わった春には、放課後体験に行ったり、胸ドキメクロマンを楽しんだことを思い出します。 高7 仲下英達(川西市)

●篠山鳳鳴同窓会の御葉書を有難く頂きました。篠山を後にして何十年になるがしら…篠山鳳鳴の字を見ると遠い昔がなつかしくうれしくなります。何年かに一度、篠山に帰ります。故郷は遠くなりました。皆様お元気で御活躍下さいませ。

高8 出水正江(松原市)
●かつて「鳳鳴は、戦前全国で最も多くの将官を出した旧制中学」(司馬遼太郎ほか)と風説された。ところが戦後、鳳鳴出身者が防衛大に進んだという話は聞いたことがない。これはどう解すればいいのだろうか? 高5 山口博美(東京都)

●昭和15年春4月、堀端の桜が満開になった下を憧れの中学1年生が登校した。北堀と学校の間を軽便鉄道が走っていた。眺らしいとながめていると轢かゲンコツが飛んで来た。昭和18年の冬、お城の大書院が焼失した。堀の水をカイホリしていたので消火出来なかったらしい。そして、昭和19年春、学業を放棄して住友プロペラ工場へ学徒動員された。翌年6月15日の空襲で帰郷する迄合宿生活で一切の教育から見放されたのだ。私達の鳳鳴生活は今の中学3年間の勉強しか出来なかったのではない。人生の1番大切な、そして私なりに充実した期間だった。 鳳中60 山内章三郎(尼崎市)

●前略 いつも同窓会の御連絡を戴き誠にありがとうございます。ウイルスと話題になる以前より、体調が安定せずに困っておりますが、皆様には是非に気を付けて戴きまして、ウイルス以外のわずらわしい事を呼び寄せないような生活を送って下さる事を願ひ申し上げます。かしこ

高36 篠倉元美(北村)(神戸市)

●何時も同窓会の件でお世話になり有難く感謝申し上げます。1936年5月9日生まれの84才で、毎日家内(78才)の経営する健康食品・健康肌着・化粧品(何れも独自ブランド)等卸販売(含小売)の経営する会社に勤務しております。自動車免許は、今年(84才)の春に返納し自転車又は家内の自動車に便乗して通勤しております。私自身も商品を開発し(計2件 水の磁気処理装置、磁気処理化粧水)特許を取得し商品化しました。小中学生の孫達のためにも自作農園で収穫の野菜を食べてもう暫く元気でありたいと思う今日この頃です。追伸 今後篠山鳳鳴高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。 高7 貫井興治(岡崎市)

●こんにちは。コロナ禍で、息がつまりそうです。時代の変化を強く感じながらも、自分の中でうまく消化できずにいます。コロナウイルスの一日も早い終息を願います。また、右往左往しながら、自分なりの生き方を考えます。事務所の皆様、ご苦勞様です。 高39 中村相石(丹波篠山市)

●コロナと猛暑、又、自然災害と厳しい夏を体験して、令和の心で日本が素晴らしい時代となりますように、まずは元気で居たいと思っております。 高18 村上範子(丹波篠山市)

●昭和47年小生が教育実習時が最後の校舎。当時の3年生が酒井市長、前川教育長でした。懐かしい城の下狭いグラウンドで棒高跳をしていました。 高21 利根正(三田市)

●高13卓球部同期会を11月10日(火)大阪城公園にて行い、全国大会男子団体優勝から71年。県大会女子団体優勝から65年。先輩方々の偉業を称え、気持ちは高校生に戻って歓迎しました。

高13 明山嘉佑(西宮市)
●相変わらずです。 高10 二階昌一(藤沢市)
●学年同級会の春の開催がコロナ禍のために、秋に変更されましたが、終息がおさまらず、中止になりました。残念でなりません。同窓生の皆様コロナに負けず生き抜きましょう! 来年少は篠山で会いましょう! 高9 小川渥美(倉敷市)

●篠山鳳鳴高校の大きな定員割れに驚きました。以前と大きく変わったのが学区の広域化です。通学時間や費用さへ厭わなければ、受験者や保護者にとっては受験できる高校の選択肢が増えました。歴史有る伝統校などと言っても、受験する生徒や保護者からみれば、魅力の無い学校になってしまったのでしょうか。これから、ますます子どもが減って、厳しい状況になりそうです。

高24 安井博幸(丹波篠山市)
●社会・経済が一変した新型コロナウイルスが感染拡大中ですが、昭和36年卒業の7組の皆さん2012年の古希の同級会以来の御無沙汰していますが御元氣ですか。私は47年間勤続の会社を退社後は心身の健康と地域社会の貢献にと思い、市のシルバー人材センターの会員となり、現在週に3日間程度ですが元気に働いています。進む少子化ですが、篠山鳳鳴高校は永遠であれ!

高13 小林旭雄(吹田市)
●同窓会報を楽しみ拝見させて頂いています。学校活動欄に知りあいの子供の名前が出ていて驚きと称賛。今年(令和3年)は高76回生が入学するという、自分達から50年が経過、感慨深い。コロナ禍で何かと大変ですが、鳳鳴健児の意気で頑張らしましょう。 高26 井口継綱(大和市)

プロフェッショナルな撮影で 地域の皆様それぞれの歴史を語り継ぐお手伝いをさせていただきます



写真の創虹社

お問い合わせ 079-590-2211

創虹社 <http://www.soukousha.net>

兵庫県丹波篠山市吹新1-1

海魚刺身



宝魚園

- 昼 膳 各 種
- 会 席 料 理
- ふ ぐ 料 理
- ば た ん 鍋
- 冠 婚 葬 祭 ・ お 座 敷 ・ 仕 出 し 料 理

〒669-2725 舞鶴若狭道 丹波篠山ICより車で5分
兵庫県丹波篠山市川北新田52 JR福知山線 篠山駅より車で7分

TEL 079-593-1341 URL <http://hougyoen.com>

学校活動

高76回生

●オリエンテーション合宿● 令和3年4月22日(木)～23日(金) 於:神鍋高原



恒例の神鍋高原での新入生オリエンテーション合宿、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、1泊2日に短縮して行いました。

「規則正しい生活」、「学習習慣の定着」、「仲間づくり」の3つを目的としたこの合宿、英語・数学・国語の勉強方法を学び、神鍋山ハイキングや学年レクリエーションでは、新しい仲間との親睦を深めることができました。

学習場所を2つに分けたり、食事でも2クラスずつ、会話をせずに食べたりなど、制約もありましたが、充実した2日間となりました。

高75回生

●春の遠足●

令和3年4月23日(金) 於:ネスタリゾート神戸

75回生は入学後初めての校外学習行事として遠足を実施しました。昨年度はコロナウイルス感染拡大防止対策のため、さまざまな行事が中止や縮小を余儀なくされました。今年度も引き続き感染拡大防止に努めながら学校生活を送っていますが、遠足についても密を避けマスクを着用するなど例年と比較して制約の多い活動となりました。しかし、天候に恵まれ、来場者も非常に少なく、丸1日大自然の中でのアクティビティーを満喫することができました。事後のアンケート結果によると満足度は94%を超え、充実した活動となったことがうかがえます。何より生徒たちの笑顔あふれる表情が印象的でした。



高74回生

●春の遠足●

令和3年4月23日(金) 於:南あわじ市、鳴門市



自分たちで計画を立て行動する経験を通して、企画力や行動力を身につけるとともに、新クラスの親睦を図りました。『うずしお』という類まれな自然現象に触れたり、古代壁画から現代絵画など多くの芸術作品を鑑賞しました。昼食会場となったホテル＆リゾート南淡路ホテルでは、3月に結婚された先生へのサプライズ企画があり、生徒代表から花束の贈呈がありました。1月の北海道修学旅行は中止になりましたが、天候にも恵まれ、淡路・鳴門の自然や文化に触れたり、美味しい食べ物を満喫した、高校生活の思い出に残る遠足になりました。

◆部活動の軌跡 令和2年度の活躍



個人の部 **山名 諒**

(第70回全国高等学校スケート競技選手権大会出場
第76回国民体育大会スケート競技 少年男子1000m 第8位)

陸上競技部

- 丹有地区高等学校駅伝競走大会
女子3区 1位 山根愛美
女子4区 1位 森岡里帆



放送部

- #放送部の夏 高校アナウンスフェス
CM部門、Q・B・B賞 中川拓紀
- 令和2年度朗読コンクール
朝日新聞社賞 山田大耀

かるた部

- 第45回兵庫県高等学校総合文化祭
小倉百人一首かるた部門(個人の部)
第4位 竹見 柊太
(今年8月に和歌山県で行われる全国大会の兵庫県代表チームに選出)

その他

- 令和2年度「税に関する高校生の作文」
優秀賞 塚本すみれ
- 第66回青少年読書感想文 兵庫県コンクール丹有支部審査会
優良賞 塚本すみれ



◆令和2年度卒業生進路状況 (令和3年3月卒業)

進 路 種 別			男	女	計	合計
進 学	4 年制大学	国 立	4	5	9	106(96)
		公 立	4	5	9	
		私 立	49	39	88	
男 69(62)	短期大学・男 0(3)	公 立	0	0	0	5(9)
女 72(76)	短期大学・女 5(6)	私 立	0	5	5	
計 141(138)	文部省所管外学校		0	0	0	0(1)
	専修・各種学校	看護・医療	4	9	13	30(38)
		一般	8	9	17	
就 職	公務員		3	1	4	9(8)
	民 間		2	3	5	
進学準備	進 学		2	0	2	2(5)
	公務員		0	0	0	
海外留学(準備)			1	0	1	1(0)
その他			1	0	1	1(2)
合 計			78 (83)	76 (76)	154 (159)	154 (159)

令和2年度入試 主な現役生合格大学

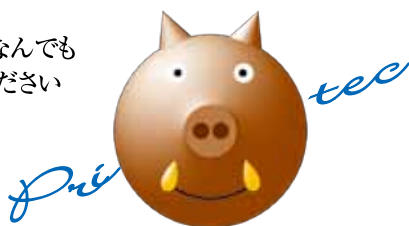
【国公立大学】 (四年制・合格者数)
 岡山大(2) 神戸大(3) 滋賀大(1) 信州大(1)
 千葉大(1) 広島大(1) 山口大(1) 国立大計10名
 新見公立大(1) 島根県立大(1) 神戸市外国語大(2)
 千歳科学技術大(1) 京都府立大(1) 兵庫県立大(1)
 高知工科大(1) 福知山公立大(1) 長崎県立大(1)
 公立大計10名

【私立大学】
 関西大(6) 関西学院大(11) 同志社大(4)
 立命館大(10) 京都産業大(5) 近畿大(18)
 甲南大(12) 龍谷大(8) 上智大(1) 藍野大(1)
 追手門学院大(24) 関西外国語大(5)
 甲南女子大(8) 神戸学院大(24) 神戸女子大(2)
 摂南大(6) 佛教大(8) 武庫川女子大(3)
 桃山学院大(2) など私立四年制大計258名

() は昨年度

印刷

のことならなんでも
おまかせください

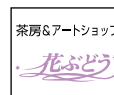


総合印刷 株式会社プリテック

TEL 079-552-0261 〒669-2333 兵庫県丹波篠山市南新町67-1
 FAX 079-552-2484 <https://www.pritec.net> info@pritec.net

ホロンピアホテル

兵庫県丹波篠山市中野76-4 FAX (079) 594-2612
 ☎ (079) 594-2611(代) <http://www.holonpia.com>





藤木千皓奨学金を給付 市村葉菜さん

私は高校生活で行ったボランティア活動を通して、多くのことを学ぶことが出来ました。中でも、リーダーシップやコミュニケーション能力が身についたことにより、自分に自信を持つことができるようになりました。これから始まる大学生活でも、培ったリーダーシップやコミュニケーション能力を活かして、様々なことに挑戦していきたいです。もちろん、今後もボランティア活動も続けたいと思います。その中で、色々な体験をして、色々な人と出会い、刺激を受け、その体験や刺激を通して学べることを吸収することで成長していきたいです。

大学ではずっと私が勉強したかった学問を勉強することが出来ます。そのため、ただ覚えるだけではなく、積極的に学び、知識として身につけ、自分のものとしてできるように努力したいです。

これからの大学生活を目一杯楽しんで有意義なものにできるよう、多くのことに積極的に挑戦、行動し、その時にしかできないことをやっていきたいです。今までは受け身になっていることが多く、言われたらやる、必要だからやる、といったようなことばかりで、興味のあったことに挑戦する機会を逃すこともあり、後悔もしてきました。これからは今まで以上に自分から積極的に行動し、そんな後悔をしないようにしたいです。将来は身につけた力を存分に発揮し、人の役に立てる仕事に就き、社会に貢献できるよう、頑張りたいです。

市村 葉菜

堀内剛二奨学金を給付

太野垣りかさん、笠井大地君

私はこの春から神戸大学医学部医学科に進学します。

私は将来、医師不足が問題となっている過疎地域で地域医療に貢献したいと考えています。そのためには、医療についての知識や技術はもちろん、地域医療についても深い理解が必要です。そこで、大学では地域医療現場の見学や実習を通じて、今、実際に地域医療で行われていることや、必要とされていることを学んでいきたいです。また、医療だけでなく、保健、福祉、介護に係る幅広い知識や技能、態度を身につけたいです。さらに、医師にとって欠かせないコミュニケーション能力を養うために積極的にボランティア活動や海外研修などにも参加することで多くの人と話し、多様な価値観を学びたいと考えています。

地域住民に寄り添った医療を提供できる医師になるため、大学ではより一層努力を重ねてゆきます。

太野垣りか

私はこの春から、千葉大学教育学部数学教育分野への進学が決まりました。ずっと目標であった教員になるための、また新たなスタートラインに立てたことを非常に嬉しく思います。

大学では数学への理解をさらに深めると共に、教員に必要な様々なスキルを四年間で身につけるため、自ら行動を起こし、人とのつながりを大切にし、たくさんの経験を積みたいと思います。そして自分が今までお世話になった先生への恩を、これからの社会に還元していく形で返せるよう、頑張ります。

最後にこの奨学金をいただくにあたって、到底私一人の力で実現できたものではなく、先生方の協力があり、そして何より、ハイレベルな友達が私の周りにいてくれたからできたものです。たくさんの方々への感謝を忘れずこれからも精進していきます。

笠井 大地

この振込用紙は、丹波篠山市への「ふるさと応援寄付金」用です。

同窓会活動協力金の振込用紙は、別紙で同封していますので、お間違いのないようご注意ください。

(ご注意)

- ・ この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・ この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・ この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・ この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

篠山鳳鳴同窓会の皆様、こんにちは！

ふるさと丹波篠山市のことをいつも気にかけていただきありがとうございます。

今もなお新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中ではございますが、つつがなくお過ごしでしょうか。丹波篠山市でもワクチン接種を進めているところですが、早く以前の日常を取り戻したいものです。

しかし、このコロナの中ですが、丹波篠山市は注目されるまちになってきました。

観光客は増え、昨年10月だけでも58万人、また都市部から若い世代の移住者も増えてきます。

この2月には日本農業遺産のまちに認定、3月には河原町の無電柱化が完成、5月にはオリンピックの聖火が来ました。市外におられる皆様はぜひゆっくり丹波篠山へお帰りください。

まちのキャッチフレーズは「日本の宝石 WakuWaku都市(シティ)丹波篠山」です。農業、美しいまちなみと農村景観、文化、いのちがかがやく自然環境などが、ますます輝くよう、そして、市民も観光に来られる方も、みんな心ワクワク元気なまちを目指します。

同窓会の皆様には色々な形でまちを担い、応援いただき、魅力的な丹波篠山市を共につくっていきましょう。今後ともよろしくお願いします。

丹波篠山市長 酒井 隆明

こちらの郵便振り込み用紙をご利用ください

07	大阪	払込取扱票		公	払込料金 加入者負担							
口座記号番号				金額	千	百	十	万	千	百	十	円
011306				960228								
加入者名	丹波篠山市会計管理者				備考							
ご依頼人・通信欄	下記のとおり丹波篠山ふるさと基金に寄付したいので申し込みます。				使途（1から5のどれか一つに○をしてください）							
	フリガナ				1. 豊かな自然環境の保全に関する事業							
	氏名 (団体名)				2. 農の都としての農業振興に関する事業							
	(〒 -)				3. 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業							
	住所				4. 日本遺産のまちの魅力発信に関する事業							
電話番号				5. その他(市長が使い道を決定します)								
				氏名、住所(市町村名まで)、寄付額及び使途内訳の情報について、事業報告書などで公開してもよろしいですか?								
				丹波篠山ふるさと応援団に登録いただけますか?								
				はい いいえ								
				はい いいえ								
				鳳鳴								
				日								
				附								
				印								

(事業者から直接送付するため、ご寄付いただいた方の住所、氏名、電話番号を)
事業者にお知らせさせていただきます

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号大第46887号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	011306	払込料金 加入者負担						
加入者名	960228							
加入者名	丹波篠山市会計管理者							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おところ(〒 -)							
おなまえ	様							
[この払込は、ふるさと納税です。]								
備考	日 附 印							

この受領証は、大切に保管してください。

丹波篠山 ふるさと応援寄付金について



令和2年度のご報告

多くのご協力と応援をありがとうございました。

昨年度の寄付金額合計 **227,142,079円**、寄付件数 **6,622件**

令和2年度、寄付は下記の事業に活用しました。(抜粋)

1. 豊かな自然環境の保全に関する事業

ふるさとの川再生事業(事業費: 6,113,000円)



2. 農の都としての農業振興に関する事業

農業遺産推進事業(事業費: 577,000円)



3. 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業

文化財保護管理費(事業費: 2,000,000円)



● その他、丹波篠山市の発展のために使わせていただいております。

4. 日本遺産のまちの魅力発信に関する事業

日本遺産・創造都市推進(事業費: 3,000,000円)



丹波篠山市のふるさと納税について

- 10,000円からの寄付で、寄付金額に応じて返礼品を選べます。(返礼品送付は市外在住者のみ)
- 返礼品はインターネットまたはカタログで選べます。
- 返礼品は取扱業者から直接届けるため、寄付いただいた方の住所(発送先)・氏名・電話番号を取扱業者に知らせます。
- 数量に限りがある商品など、希望の返礼品を届けることができない場合がありますのでご了承ください。

丹波篠山市のふるさと納税の仕方

- 1、窓口：直接窓口(丹波篠山市役所 創造都市課)で寄付ができます。
- 2、郵便振替：専用の払込用紙(本会報P14)で、最寄りのゆうちょ銀行から振込みをしてください。入金確認後、返礼品申し込みはがきとカタログを送付します。
- 3、インターネット：ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」または「楽天ふるさと納税」にて、クレジットカードでの寄付ができます。



ふるさとチョイス
QRコード



「楽天ふるさと納税」
QRコード

新型コロナウイルス感染症対策に係る寄附金の受付を行っています

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、医療機関や福祉施設におけるサービスの負担拡大、学校園の臨時休業に伴う学習支援、観光客の激減による経済的な影響等々様々な課題が発生しています。今後の新型コロナウイルス等の感染症の地域課題への対策を支援いただくことを目的とした「丹波篠山市新型コロナウイルス等感染症対策支援寄附」の受付を行っています。

皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



詳細はこちらを
ご覧ください。

■問い合わせ先 **丹波篠山市役所 企画総務部 創造都市課**

TEL:079-552-5796/FAX:079-552-5665 メール:sozotoshi_div@city.sasayama.hyogo.jp

会員大会

鳳鳴のつどい 中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止することになりました。
ご了承ください。

活動協力金 ご協賛のお願い

お一人
2,000円

会員の皆さんと同窓会を結ぶ会報は、この活動協力金によって発行されています。同窓会事業の継続と発展のためには、皆様方の温かいご支援が不可欠です。同窓会活動協力金のご協賛について、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

同窓会活動協力金はお一人2,000円とし、同封振込用紙にて郵便局又は、コンビニよりお願いいたします。なお、振込手数料は不要です。

令和2年度協力金 (令和3年5月31日現在)

1,272件 2,458,220円 (振込手数料除)

なお、ご協賛いただいた皆様のお名前を、次回発行の本紙に掲載する予定です。

会員の皆様からの多額の協力金に深く感謝申し上げます。引き続き今年度もご協力よろしくお願い申し上げます。

原稿募集

会報「鳳鳴」は、さまざまな活動を掲載します。今後もいろいろな情報を掲載し、会員相互の情報交換の場にしていきたいと考えています。

そこで、会員の皆様から次のような原稿を募集いたします。

- ・同期会、クラス会、OB会の報告
- ・旅行記、高校時代の思い出
- ・卒業生のご活躍の方々、お店の紹介
- ・同期会等の開催告知
- ・俳句・短歌・川柳 etc...

方法は、同窓会事務局まで、郵送又はFAXでお寄せください。その際には、卒業年次(回生)、クラス、住所、氏名、TELをお忘れないうようお願いいたします。また、写真等もお送りいただけますと幸いです。尚、紙面の都合上、掲載できない場合もございますので、ご了承ください。

掲載希望の申し出は、令和4年3月末までに、原稿は4月末までをお願いします。

20歳のお祝い同窓会支援(高72回のみなさん) 成人式の次は、学年同窓会!

同窓会が支援金3万円を支給し、成人後初の学年同窓会の開催を応援します。

同級生への連絡や出欠の確認、当日の運営などは、学年理事を中心に自分達でしていただく必要があります。

また開催後には、当日の記事を同窓会報に掲載しますので、写真を添えて原稿を提出して下さい。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定を変更する場合があります。

編集後記

同窓会のホームページを開設しました。ぜひアクセスいただき、ご意見、ご感想をお待ちしております。

<https://homei-doso.org>

今年も昨年同様「鳳鳴のつどい」を中止といたしました。大変残念ですが、また皆さんにお会い出来るのを心から楽しみにしております。 井関由里子(高32回)

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局は下記の曜日・時間事務員が在室しています

月・水・金 AM10:00~12:00
PM 1:00~ 3:00

TEL/FAX 079-554-2533

〒669-2318 丹波篠山市大熊369
篠山鳳鳴同窓会事務局

みな様からのお便り
をお待ちしています!
留守の場合は留守番
電話に伝言をお願い
します。



丹波新聞 丹波篠山の今を伝える



株式会社 丹波新聞社

丹波篠山支局 兵庫県丹波篠山市大沢2-6-3

TEL.079-506-4338 FAX.079-506-1612

丹波新聞 本 社 兵庫県丹波市柏原町柏原201-1